

ドラッグインフォメーション

平成 30 年 4 月改訂

販売名	合成ケイ酸アルミ「ヨシダ」	製造販売	吉田製薬株式会社		
局方名	日本薬局方 合成ケイ酸アルミニウム				
洋名	Sythetic Aluminum Silicate	発売年月	1964年5月		
一般名	合成ケイ酸アルミニウム	薬価収載年月	1964年5月		
剤形	散 剤	薬 価	10g	21.90	健保適用
規制区分	普通薬 局方	日本標準商品分類番号	872343		
厚生労働省薬価基準収載医薬品コード	2343001X1185	YJコード	2343001X1185		
構造式	$Al_2(SiO_3)_3$	性 状	本品は白色の粉末で、におい及び味はない。 水、エタノール(95)又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。1gに水酸化ナトリウム溶液(1→5)20mLを加えて加熱するとき、わずかに不溶分を残して溶ける。		
組成	本品の大部分は $Al_2(SiO_3)_3$ である。				
効能・効果	下記疾患における粘膜保護作用と症状の改善 胃・十二指腸潰瘍、胃炎(急・慢性胃炎、薬剤性胃炎を含む)				
用法・用量	合成ケイ酸アルミニウムとして、通常成人1日3～10gを3～4回に分割経口投与する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。				
薬効薬理	胃酸とは次式のように反応する。 $Al_2(SiO_3)_3 + 12HCl \rightarrow 4AlCl_3 + 9SiO_2 + 6H_2O$ 胃酸を徐々に中和してケイ酸と塩化アルミニウムを生じ(制酸作用)、生成したケイ酸は胃粘膜を被覆防護して胃の潰瘍部又は炎症部に及ぼす胃液の刺激をさえぎる(粘膜被覆作用)。一方胃酸と反応して生成した塩化アルミニウム胃壁に収れん的に作用して、その働きを調節する。高い吸着能や二次的胃液分泌作用は少ない。吸着作用・被覆保護作用の結果、便秘を起こす傾向がある。 本薬は非吸収性であり、アルカローシスを起こさない。				

使用上の注意

【禁忌(次の患者には投与しないこと)】
透析療法を受けている患者〔長期投与によりアルミニウム脳症、アルミニウム骨症、貧血等があらわれることがある。〕

- 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)
 - (1)便秘のある患者(便秘を悪化させるおそれがある)
 - (2)腎障害のある患者(長期投与によりアルミニウム脳症、アルミニウム骨症、貧血等があらわるおそれがあるので、定期的に血中アルミニウム、リン、カルシウム、アルカリフォスファターゼ等の測定を行うこと。)
 - (3)リン酸塩低下のある患者(アルミニウムにより無機リンの吸収が阻害される。)
- 相互作用
併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
テトラサイクリン系抗生物質 (テトラサイクリン、ミノサイクリン等) ニューキノロン系抗菌剤 (シプロフロキサシン、トスフロキサシン等) ビスホスホン酸塩系骨代謝改善剤 (エチドロン酸二ナトリウム、リセドロン酸ナトリウム)	本剤との併用により、これらの併用薬剤の効果が減弱することがあるので、同時に服用させないなど注意すること。	アルミニウムと難溶性のキレートを形成し、薬剤の吸収が阻害される。
鉄キレート剤 (デフェラシロクス)		アルミニウムとキレートを形成する。

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
甲状腺ホルモン剤 (レボチロキシンナトリウム等) 胆汁酸製剤 (ウルソデオキシコール酸、 ケノデオキシコール酸) ロペラミド	本剤との併用により、これらの併用 薬剤の効果が減弱することがあるの で、同時に服用させないなど注意す ること。	アルミニウムと吸着し、薬剤の吸収 が阻害される。
イソニアジド		アルミニウムとキレートを形成または 吸着し、薬剤の吸収が阻害される。
セフジニル ミコフェノール酸エフェチル デラビルジン ザルシタピン ペニシラミン	本剤との併用により、これらの併用 薬剤の効果が減弱することがある ので、同時に服用させないなど注 意すること。	機序不明
高カリウム血症改善イオン 交換樹脂製剤 (ポリスチレンスルホン酸 カルシウム、ポリスチレン スルホン酸ナトリウム)	血清カリウム抑制イオン交換樹脂 の効果が減弱するおそれがある。	アルミニウムイオンと非選択的に 交換すると考えられる。
ポリカルボフィルカルシウ ム	ポリカルボフィルカルシウムの作用 が減弱するおそれがある。	ポリカルボフィルカルシウムは酸性条 件下でカルシウムが脱離して薬効を発 揮するが、本剤の胃内 pH上昇作用に よりカルシウムの脱離が抑制される。
ジギタリス製剤 (ジゴキシン、ジギトキシン等) 鉄剤 フェキソフェナジン	これらの薬剤の吸収・排泄に影響 を与えることがあるので、服用間隔 をあけるなど注意すること。	アルミニウムの吸着作用または消 化管内・体液の pH上昇作用による と考えられる。
キニジン	制酸剤(乾燥水酸化アルミニウムゲ ル)の投与により、併用薬剤の排泄 が遅延することが知られている。	制酸剤による尿の pH上昇による。
アジスロマイシン セレコキシブ ロスバスタチン ラベプラゾール ガバペンチン	これらの薬剤の血中濃度が低下す るおそれがある。	機序不明
クエン酸製剤 (クエン酸カリウム、クエン 酸ナトリウム等)	血中アルミニウム濃度が上昇するこ とがあるため、同時に服用させない など注意すること。	キレートを形成し、アルミニウムの吸 収が促進されると考えられる。

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

その他の副作用

種類 \ 頻度	頻度不明
消化器	便秘等
長期投与 ^(注)	アルミニウム脳症、アルミニウム骨症、貧血

(注)このような症状が発現することがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、減量又は
休薬等の適切な処置を行うこと。

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

取扱上の注意	貯 法:密閉容器		
備考	包装単位:500g、5Kg	文献 請求先	吉田製薬株式会社 学術部 東京都中野区中央5-1-10 TEL (03)3381-7291